

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	1845	担当課等	こども支援課							
事務事業名	土にふれ合う園児のつどい事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	平成4年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	1 健康づくり	(1) 健康増進・食育の 推進	健康増進計画・食育 推進計画の推進				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目的	食育の一環として実施し、子どもたちに土のぬくもりや収穫の楽しさを感じてもらおう。								
対象	町内4保育園、1公立幼稚園、1私立幼稚園の年長児								
内容	湯河原農業者倶楽部の協力・指導により、芋の苗付け及び収穫等を体験する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		1,618,400	1,944,000	558,000		
	人件費	常勤職員	147,600	150,575	158,180		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	147,600	150,575	158,180		
	総事業費		1,766,000	2,094,575	716,180		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		1,766,000	2,094,575	716,180		
	一般財源		0	0	0		
	財源合計		1,766,000	2,094,575	716,180		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
対象者数			延べ対象者	人	154	170	190
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
参加者数			延べ対象者(保護者・ボランティア含む)	人	224	240	250
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	幼児期の健康と食育の意識・行動・実践に取り組むとともに、関係機関との調整なども含め町で実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	園児、保護者及びボランティアなど多くの参加を得ていることから、効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	幼児期に見合った食への関心が高められている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	対象者は、町内の幼稚園・保育園に通園している児童のみであるが、町内5歳児の9割強が対象となっている。
令和6年度までの自己評価または改善点		収穫した芋は、園内で調理し、5歳児だけでなく他の年齢の園児も試食をするなど、全園児の食育を兼ねた楽しい園のイベントとしても実施している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原農業者倶楽部に、整地、指導、管理を委託している。
令和7年度の見直し及び改善予定	酷暑による草むしりが保護者の負担になっていることから、継続を前提に改善を検討する。	
令和8年度以降の方向性	酷暑対策として、いもの苗付けやいも掘りの時間を酷暑によって園児に負担をかけないように30分から45分程度を検討する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	土にふれ合いながら、自然を通して食物の成長や収穫の喜びが体験できる貴重な事業となっていることから継続していく必要がある。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	1828	担当課等	こども支援課							
事務事業名	小児医療費助成事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	平成7年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	3 医療	(1) 地域医療体制の 充実	関係機関との連携と 医療体制の充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	○		○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	小児に係る医療費の一部を助成することにより、その健全な育成支援を図り、もって小児の健康の増進に資する。								
対 象	0歳から高校生年代まで(通院・入院)								
内 容	0歳から高校生年代までの小児に対し、通院及び入院に係る医療費の自己負担を助成する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		40,400,836		42,650,663		51,447,000	
	人件費	常勤職員	723,200		752,800		790,900	
		会計年度任用職員等	284,000		299,300		314,600	
		人件費合計	1,007,200		1,052,100		1,105,500	
	総事業費		41,408,036		43,702,763		52,552,500	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		11,884,000		13,008,000		18,397,000	
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		29,524,036		30,694,763		34,155,500	
	財源合計		41,408,036		43,702,763		52,552,500	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
対象者数			助成額に直接関係		人	1464	1782	1600
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
医療費助成件数			助成額に直接関係		件	18950	18506	15000
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	医療費の助成により、小児の健康維持や経済的負担の軽減など子育て世帯に対する支援の一つとして寄与している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	令和6年度から対象者年齢を高校生年代まで拡大し、約年間18,000件の助成件数となっており、子育て世帯の負担軽減に繋がっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により、小児の健康維持や経済的負担の軽減に寄与できている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民課窓口において、出生及び転入届出時の周知をマニュアル化しており、受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		事業実施により、経済的負担の軽減に寄与できている。 令和7年1月から対象年齢を中学校3年生から高校生年代までに拡大した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	県内医療機関分は原則医療費請求を審査支払機関に委託しているが、県境に位置するため、県外医療機関の利用により発生する償還払い制度への対応等に課題があると考える。
令和7年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の方向性	今後も引き続き国・県へ制度拡充の要望をしつつ、制度拡充について調査・検討していきたい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き国・県へ制度拡充の要望をしつつ、制度拡充について調査・検討すること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	1872	担当課等	こども支援課							
事務事業名	一時預かり事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	平成11年

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	4 地域福祉	(2) 地域福祉活動への 参加促進	幼児保育サービスの 整備・充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	保護者の就労や傷病等による一時的、緊急的保育のほか、保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担の緩和等、保育の需要に対応し乳幼児の福祉の増進を図る。								
対象	小学校就学前の保育園・幼稚園に在籍していない児童								
内容	保護者の労働等による非定型的保育サービス事業、保護者の傷病・入院、冠婚葬祭等による緊急的保育サービス事業、保護者の育児に伴う心理的、肉体的負担を解消するため、私的理由による保育サービス事業を実施								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	289,280	310,010	325,660		
	会計年度任用職員等	1,326,826	3,144,999	4,581,000		
	人件費合計	1,616,106	3,455,009	4,906,660		
	総事業費	1,661,506	3,655,838	5,032,660		
財源内訳	国庫支出金	653,000	1,595,000	2,162,000		
	県支出金	653,000	1,595,000	2,162,000		
	地方債					
	その他特定財源	355,506	465,838	708,660		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	1,661,506	3,655,838	5,032,660		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
一時保育利用登録者		事業実施に直接関係	人	26	20	30
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
一時保育延べ利用件数		子育ての支援	件	213	245	260
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	保護者の就労形態の多様化による一時的な保育の利用や保護者の私的理由による利用など、子育て世帯に対する支援の一つとして、寄与できる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	利用件数は年によりばらつきがあるが、保護者ニーズに対応した事業内容であり、効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により、保護者の肉体的、精神的負担の軽減に寄与できている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	受益の機会は均等であるが、定員超過により受け入れできない場合がある。
令和6年度までの自己評価または改善点		定員超過の場合は、町保育職員の配置を工夫するなどして可能な限り対応している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	制度的に実施主体は市区町村であるが、市区町村が認めた者への委託は可能である。
令和7年度の見直し及び改善予定	平成30年10月より開始した子育て支援センターでの短時間預かり(1時間単位)を安定的に継続実施できるよう検討する。	
令和8年度以降の方向性	保護者の傷病など緊急時の保育サービス、また、私的理由での保育サービスなど、ニーズが多様化する利用者の要望にきめ細かく応えるため引き続き事業を実施したい。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	多様化する子育てのニーズに対応するため、継続していく必要がある。
---------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	現時点において一次評価と同様であるが、将来的には「こども誰でも通園制度」の実施状況等を踏まえた検証・検討の余地あり
---------	----------	---

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月2日

事業番号	1879	担当課等	こども支援課							
事務事業名	子育てサロン運営事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	平成14年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	4 地域福祉	(2) 地域福祉活動への 参加促進	①乳児保育サービスの 整備・充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	乳児連れの親子が憩える場所及び子育て家庭が抱える育児不安について気軽に相談できる場の提供と、子育て支援情報の発信や講座開催などを実施していくことで、子育て世代へ支援を図る。								
対象	乳幼児とその親等								
内容	育児不安や子育てに対するストレスを感じる母親への支援を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		240,607		645,925	
コスト	人件費	常勤職員	2,386,560	2,434,500	2,557,450	
		会計年度任用職員等	2,114,786	2,839,612	5,676,000	
		人件費合計	4,501,346	5,274,112	8,233,450	
	総事業費		4,741,953	5,920,037	8,575,450	
財源内訳	国庫支出金		785,000	1,062,000	1,097,000	
	県支出金		785,000	1,062,000	1,097,000	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,171,953	3,796,037	6,381,450	
	財源合計		4,741,953	5,920,037	8,575,450	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
子育てサロン開所日		支援実施に直接関係	日	244	251	245
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
延べ利用人数		育児中の母親への支援	人	3025	4809	4500
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	親同士、子同士の気軽な交流の場の提供やサロン保育士による子育てアドバイスなど、子育て支援に寄与できる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	各年度において、安定して一定程度の利用者件数があるため効果は得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により保護者の交流の場の提供や講座の開催、子育てに関する情報提供など子育て支援に寄与できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場であり、受益の機会は均等であるが、利用定員超過により利用ができない場合がある。
令和6年度までの自己評価または改善点	子育てサロンを平成27年4月に地域福祉センター2号館(子育て支援センター)へ移設し、ファミリーサポートセンター事業、利用者支援事業など、子育て関連事業との連携を強化した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 社会福祉法人に委託する事例を把握しているが、ファミリーサポートセンター事業や利用者支援事業など、他の事業と連動して検討する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	特になし
令和8年度以降の方向性	子育て中の親が気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場として充実しながら継続実施していくなかで、虐待事案を未然に防ぐためにも児童相談事業との連携を強化していきたい。

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	多様化するニーズに適宜対応しながら継続して実施する必要がある。
---------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月1日

事業番号	1909	担当課等	こども支援課							
事務事業名	ファミリーサポートセンター事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	平成25年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	4 地域福祉	(2) 地域福祉活動への 参加促進	①幼児保育サービスの 整備・充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	子どもの預かりなど援助を受けたい人(ファミリー会員)と援助を行いたい人(サポート会員)とが地域において助け合い、子育てを支援することにより、仕事及び家事と育児が両立できる環境を整える。								
対象	援助を受けたい人と援助を行いたい人(子どもを預けたいと預かれる人)								
内容	生後3カ月から中学校終了までの児童を対象として、サポート会員が保育園や学童保育などの送迎、学校行事や冠婚葬祭などの際の預かりなどを有償で実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		事業費		事業費	
コスト	人件費	144,640	146,360	153,120		
	会計年度任用職員等	2,900,892	3,577,383	4,438,000		
	人件費合計	3,045,532	3,723,743	4,591,120		
	総事業費	3,955,496	4,654,607	5,888,120		
	総事業費	3,955,496	4,654,607	5,888,120		
財源内訳	国庫支出金	833,000	833,000	833,000		
	県支出金	833,000	833,000	833,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,289,496	2,988,607	4,222,120		
	財源合計	3,955,496	4,654,607	5,888,120		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
ファミリー会員数		支援実施に直接関係	人	127	140	140
サポート会員				85	83	85
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
活動実績件数		子育て支援	件	866	962	950
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	地域ぐるみで子育てを支援することで、子育てをしている家庭を地域の人々が互いにつながり合い、信頼と助け合いの関係を築くことができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	平成25年10月から事業をスタートしたが、登録者数、利用件数とも増加している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により、子育て支援に寄与できている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	受益の機会は均等ではあるが、会員間の状況により、サービス実施に繋がられない場合がある。
令和6年度までの自己評価または改善点		平成27年4月から開設場所を教育センターから地域福祉センター2号館(子育て支援センター)に移設し、子育てサロン事業や利用者支援事業との連携を強化した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	社会福祉法人等に運営委託する事例を把握しているが、子育てサロン運営事務や利用者支援事業など、他の事業と連動して検討する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	会員のフォローアップ研修等を実施する。また、送迎活動の保険に加入することで、サポート会員に安心して活動していただくように改善を図る。	
令和8年度以降の方向性	保護者のニーズを把握しながら、事業を継続する。また、講座の開催について、オンラインを活用するなど、開催方法について検討していく必要がある。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	子育て支援の隙間を埋めるサポートとして意義のある事業であるため継続実施すること。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月1日

事業番号	1941	担当課等	こども支援課							
事務事業名	子育て支援センター事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	平成26年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	4 地域福祉	(2) 地域福祉活動への 参加促進	③子育て相談体制の 充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	○		○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	子育ての多様なニーズに対応し、子育て情報を一元的に集約し、発信するワンストップ機能を有する子育て支援拠点施設を運営し、地域の子育て支援体制の充実を図る。								
対象	児童とその保護者								
内容	子育てに関する全般的な相談や子育てサービスに関する情報提供などを実施する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	4,700,800	4,756,700	4,976,400	
		会計年度任用職員等	1,294,752	1,517,091	3,339,000	
		人件費合計	5,995,552	6,273,791	8,315,400	
		総事業費	6,544,064	9,471,378	12,535,400	
財源内訳		国庫支出金	1,158,000	3,142,000	5,039,000	
		県支出金	289,500	785,000	1,259,000	
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	5,096,564	5,544,378	6,237,400	
		財源合計	6,544,064	9,471,378	12,535,400	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
センター開所日		事業実施に直接関係	日	245	246	245
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
相談件数		保護者への育児支援	件	225	273	230
相談人数		保護者への養育支援	人	26	17	30

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	親同士、子同士の気軽な交流の場の提供や相談員による相談指導など子育て支援に寄与できる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	平成27年度から事業をスタートしたが、事業内容の周知により相談件数は増加している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により保護者の交流の提供や子育てに関する情報提供など子育て支援に寄与できている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	児童及びその保護者は誰でも利用でき、受益の機会は均等だが、更なる周知を実施していきたい。
令和6年度までの自己評価または改善点		利用者支援事業(児童相談業務)に対応するため非常勤の子育て支援員2名を配置し、相談業務を強化した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	社会福祉法人等に運営委託する事例を把握しているが、子育てサロン運営事業やファミリーサポートセンター事業など、他の業務と連携して検討する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	引き続き子育て支援員を配置し、児童相談の業務の充実を図りながら、子ども家庭そごう支援拠点の役割を担えるよう検討する。	
令和8年度以降の方向性	子ども家庭センターの設置する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	子育ての多様なニーズに対応するため継続して実施し、利用者支援事業の充実や他業務との連携強化を推進する必要がある。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月29日

事業番号	11898	担当課等	こども支援課							
事務事業名	子育て支援紙おむつ等支給事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	4 地域福祉	(2) 地域福祉活動への 参加促進	①幼児保育サービスの 整備・充実				
関連する個別計画	湯河原まち子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	○		○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	総合戦略基本目標の一つ「結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる」を実現する。								
対 象	町内に住民登録がある1歳の誕生日までの乳児								
内 容	子育てしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の経済的負担軽減を図るとともに、安心して子どもを生み育て、次世代を担う子どもの健やかな成長を町全体で応援することを目的として、乳児を養育している家庭へ宅配によるオムツ等の支給をする。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	1,446,400	1,463,600	1,531,200	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	1,446,400	1,463,600	1,531,200	
		総事業費	5,798,390	6,655,971	7,048,200	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	5,798,390	6,655,971	7,048,200	
		財源合計	5,798,390	6,655,971	7,048,200	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
対象者数		事業実施に直接関係	人	70	74	70
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
延べ利用件数		子育ての支援	件	747	744	750
				0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	地域の子ども子育て支援を充実させる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	令和2年度から事業をスタートしたが、ほとんどの世帯が申請してるため、効果は得られている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により、子育てに係る経済的負担の軽減に寄与できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	乳児の出生の届出時に制度の案内をしており、受益の機会均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		子育てしやすい環境づくりに向けて、乳児を養育している家庭へ宅配によるオムツ等の支給事業を開始した。	

4 見直し及び改善

評 価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 入札により事業者へ委託している。
令和7年度の見直し及び改善予定	一部リニューアルの商品の周知
令和8年度以降の方向性	利用者のニーズ等踏まえながら、安定した供給が出来るように実施したい。

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	子育てしやすい環境づくりに向け、継続して実施すること。
---------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	現時点において一次評価と同様であるが、子育てしやすい環境の更なる充実を図るため、将来的な事業の拡充等の検討の余地あり
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	9229	担当課等	こども支援課							
事務事業名	多世代交流の居場所事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	5 児童福祉・子育て 支援	(2) 子育て支援サー ビスの充実	幼児保育サービスの 整備・充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
					○			○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	総合戦略基本目標の一つ「結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる」を実現する。								
対 象	町民								
内 容	地域の多様な世代が子供達を見守るコミュニティ「ゆがわらっことつくる多世代の居場所」を拠点に、誰もが安心して子育てできる、子育て世代に魅力ある地域を創出する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		2,500,000	2,500,000	2,500,000		
	人件費	常勤職員	723,200	731,800	768,700		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	723,200	731,800	768,700		
	総事業費		3,223,200	3,231,800	3,268,700		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		3,223,200	3,231,800	3,268,700		
	一般財源		0	0	0		
	財源合計		3,223,200	3,231,800	3,268,700		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
開所日			実施に直接関係	日	196	126	130
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
来所者数			実施に直接関係	人	2081	1805	2000
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	世代を超えて循環する持続可能な地域のコミュニティの創設に町も積極的に関わる必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	来所者数が増加するなど、地域に定着しつつある。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	子どもの安全・安心な居場所の創出として有効である。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	現在、町内1箇所での運営であり地域的利便性にやや偏りがある。
令和6年度までの自己評価または改善点		持続可能な事業とするため、先進地事例の収集や関連機関を集めて懇談会の開催などを実施し、地域での交流を深めながら今後につながる事業を展開した	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	民間委託を実施
令和7年度の見直し及び改善予定	国の補助金を活用した委託事業は令和2年度で完了したが、世代を超えた交流や学びの場として定着していることからその運営に関し補助金の交付対象とする	
令和8年度以降の方向性	引続き一般社団法人ユガラボの運営費に対し助成する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	世代を超えた多世代交流の居場所として、引き続き継続する必要がある。
---------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	2028	担当課等	こども支援課					
事務事業名	保育園設備整備事業							
予算科目コード	会計		款		項	目	事業開始年度	昭和50年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	5 児童福祉・子育て 支援	(2) 子育て支援サー ビスの充実	幼児保育サービスの 整備・充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○	○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	保育園の設備等にかかる工事や購入により、園児の安全・安心また、設備の充実を図る。								
対 象	町立保育園施設								
内 容	おにわ保育園入口門扉戸車交換及びおにわ保育園エアコン更新工事を行った。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		1,350,745	546,700	0		
	人件費	常勤職員	723,200	759,700	0		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	723,200	759,700	0		
	総事業費		2,073,945	1,306,400	0		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		2,073,945	1,306,400	0		
	一般財源		0	0	0		
	財源合計		2,073,945	1,306,400	0		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
工事請負費			整備に直接関係	千円	1163	546	1314
備品購入費			整備に直接関係	千円	187	0	188
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
工事件数			整備に直接関係	件	2	2	2
備品購入件数			整備に直接関係	件	1	0	2

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	保育園設備の充実を図ることにより、園児の安心・安全が図られる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	設備の改修などで効果は得られている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	園児を酷暑から守れることから、園児の安全・安心にかかる成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	工事を実施したのは一部の保育園であったが、保育園の運営においてかかせない機器であるため、受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		適切な点検を行い、速やかに不具合のあったおにわ保育園入口門扉戸車交換及びおにわ保育園エアコン更新工事を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	工事及び施設修繕等は事業者が発注している。
令和7年度の見直し及び改善予定	保育園設備の充実と園児の安心・安全のため、必要に応じ実施する。	
令和8年度以降の方向性	保育園設備の充実と園児の安心・安全のため、必要に応じ実施する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	園児の安全・安心や保育園設備の充実のため、必要に応じ適宜対応していくこと。
---------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年8月28日

事業番号	15431	担当課等	こども支援課							
事務事業名	高校生通学定期券購入費補助事業									
予算科目コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	事業開始年度	令和5年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	5 児童福祉・子育て 支援	(2) 子育て支援サー ビスの充実					
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○						○		
目 的	高等学校などへ通学する生徒を養育する家庭の経済的負担の軽減								
対 象	町内に住民登録のある高校生を養育する保護者								
内 容	公共交通機関を用いて高等学校などへ通う生徒の通学定期券購入にかかる費用を一部助成する。(助成額:生徒一人あたり年間一律20,000円)								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)		
	事業費		7,200,000	7,474,366	9,000,000		
	人件費	常勤職員	723,200	731,800	765,600		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	723,200	731,800	765,600		
	総事業費		7,923,200	8,206,166	9,765,600		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		7,923,200	8,206,166	9,765,600		
	財源合計		7,923,200	8,206,166	9,765,600		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
申請件数			事業の周知に関係	件	372	374	380
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
支給件数			事業実施に関係	件	360	369	380
					0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町内に高等学校がなく、町内在住の高校生は公共交通機関を利用しなければ通学ができないため、必要性は高い。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	毎年多くの申請があるため、効果は高いと考える。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町内の高校生は他の補助金等で交通費を受給していなければ全員利用できる制度であり、有効性は高いと考える。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	湯河原町育英奨学金や生活保護など、他の制度で交通費の支給を受けている場合には受給できない。
令和6年度までの自己評価または改善点		町内に高等学校がないため、通学には公共交通機関の利用が必須になることから、補助事業を開始した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	個人情報を取り扱う事業であり、町から直接の口座振込による補助であるため、委託は難しいと考える。
令和7年度の見直し及び改善予定	下宿や寮を利用している生徒を対象にできるように要綱改正等を検討する。	
令和8年度以降の方向性	対象者の拡大は難しいため、現状の対象年齢内での申請率が高まるよう、周知に努める。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	申請率を高める。
---------	----------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	現時点において一次評価と同様であるが、他制度との兼ね合い、事業効果等を更に検証の上、縮小・廃止に向けた検討の余地あり
---------	----------	--

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月3日

事業番号	1855	担当課等	こども支援課							
事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業									
予算科目コード	会計		款		項		目		事業開始年度	平成4年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅲ 社会保障の充実	1 生活支援・ひとり 親福祉	(2) ひとり親家庭への 支援	援護サービスの充実				
関連する個別計画	湯河原町子ども・子育て支援事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	○		○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、もってひとり親家庭等の福祉の増進を図る。								
対 象	ひとり親家庭の保護者と児童								
内 容	ひとり親家庭の父又は母及び児童が保険取扱機関で受診した疾病等の医療費の自己負担分を助成する。所得制限及び自己負担金あり。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費		15,628,532		14,141,127		16,515,000	
	人件費	常勤職員	723,200		722,760		759,264	
		会計年度任用職員等	284,000		299,300		314,600	
		人件費合計	1,007,200		1,022,060		1,073,864	
	総事業費		16,635,732		15,163,187		17,588,864	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		7,121,000		6,262,000		8,152,000	
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		9,514,732		8,901,187		9,436,864	
	財源合計		16,635,732		15,163,187		17,588,864	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
対象人数			助成額に直接関係		人	360	353	400
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
医療費助成件数			助成額に直接関係		件	5376	4777	4300
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	医療費の助成により、ひとり親家庭に対する支援の一つとして、経済的負担の軽減に寄与できる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	令和6年度小児医療費助成事業の年齢拡大により、対象年齢が同じとなったが、ひとり親家庭の健康維持等、事業本来は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施により、経済的負担の軽減に寄与できている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民課窓口において、ひとり親家庭となった届出及び転入時に事業周知しており、受益の機会は均等である。
令和6年度までの自己評価または改善点		引き続き対象家庭等に周知し、対象者の利便性の向上を図る。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	県内医療機関分は原則医療費請求を審査支払機関に委託しているが、県境に位置するため、県外医療機関の利用により発生する償還払い制度への対応等に課題があると考ええる。
令和7年度の見直し及び改善予定	引き続き対象家庭に周知し、対象者の利便性の向上を図る。	
令和8年度以降の方向性	ひとり親家庭等の健康維持や経済的負担の軽減に寄与できているため継続実施する。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ひとり親家庭の健康維持や経済的負担の軽減に寄与できているため、継続して実施していく必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------